



# 初発の感想を 「中間の感想」や「終末の感想」と読み比べる

物語の読み方6で「初発の感想の書き方」を学びましたが、物語だけでなく説明文の読みでも使えます。今日は、その書き方ではなく「活かし方」について学びたいと思います。

## <こつ1：初発の感想は疑問形で書くことが大事>

これも学びましたね。めあて(課題)になりやすいからです。しかしそれだけでなく、答えにも結びつきやすいからです。

## <こつ2：中間(単元の途中)と終末では必ず感想を書く>

できるだけ長めに書きましょう。ノート1ページくらい書けるといいです。途中の感想は1回というわけではありません。毎時書くとすごく勉強になります。そのときに、さらに以下のこつがあります。



## <こつ3：中身は自由感想+以下の3つ>

### ① この話(物語・説明文)で何が分かったか

物語だったら主人公の行動や心情が最初のうちは分からなかったかもしれません。しかし授業を進めるうちにだんだんと分かってきました。説明文なら筆者の意見が理解できたかもしれません。この「何が分かったか」を必ず書きましょう。

### ② どうして分かってきたのか

授業をよく思い出しましょう。自力で読んで分かったこと、友達と話し合っ分かった(気づいた)こと、関連資料を読み込んで分かったことなど様々あります。そのことを思い出して書きましょう。ただし「友達と相談したから。」という簡単な書き方ではなく、「友達と〇〇を話し合っているうちに◇◇に気づいて分かってきた。」というように詳しく書きましょう。その方が今後の学習にすぐに使えます。

③ <sup>まな</sup> <sup>しつぱい</sup> <sup>せいこう</sup> <sup>か</sup>  
学びの失敗や成功も書こう

<sup>よ</sup> <sup>かんそう</sup> <sup>か</sup> <sup>つぎ</sup> <sup>べんきょう</sup> <sup>おお</sup> <sup>やくだ</sup>  
読みの感想ではありませんが、これも書いておくと次の勉強で大いに役立ちます。

<sup>しつぱい</sup> <sup>せいこう</sup> <sup>もと</sup>  
「失敗は成功の元」です。

< <sup>しよはつ</sup> <sup>かんそう</sup> <sup>よ</sup> <sup>くら</sup>  
こつ4：初発の感想と読み比べる >

そして、こつ3で書いた感想と、初発の感想を読み比べます。ということは、初発の感想は捨てるはいけないんですね。第1時にノートにはっておくといいでしょう。

<sup>よ</sup> <sup>くら</sup> <sup>じぶん</sup> <sup>じしん</sup> <sup>よ</sup> <sup>か</sup> <sup>き</sup>  
読み比べると、自分自身の読みがじよじよに変わってきたことに気づきます。

< <sup>さいじゅうよう</sup>  
こつ5：これが最重要ポイント >

(1) <sup>とちゆう</sup> <sup>かんそう</sup> <sup>がくしゆう</sup> <sup>く</sup> <sup>た</sup> <sup>なお</sup>  
途中の感想は学習の組み立て直しのヒントにする

<sup>とちゆう</sup> <sup>かんそう</sup> <sup>ふかんぜん</sup> <sup>とく</sup> <sup>か</sup> <sup>ないよう</sup> <sup>ご</sup> <sup>まな</sup>  
途中の感想ですから、まだ不完全です。しかし、特に②に書いた内容がその後の学  
<sup>かた</sup> <sup>おお</sup> <sup>ともだち</sup> <sup>はな</sup> <sup>あ</sup> <sup>ともだち</sup> <sup>いけん</sup> <sup>すこ</sup> <sup>き</sup>  
び方のヒントになることが多いです。「友達との話し合いでは、友達の意見をもう少し聞  
<sup>かた</sup> <sup>はんせい</sup> <sup>てん</sup> <sup>た</sup> <sup>なお</sup>  
いた方がいいな。」など、反省点や立て直しのヒントがかくされています。

(2) <sup>しゆうまつ</sup> <sup>かんそう</sup> <sup>よ</sup> <sup>まな</sup> <sup>ふか</sup> <sup>じぶん</sup> <sup>せいちよう</sup> <sup>わ</sup>  
終末の感想では読みや学びの深さ—自分の成長—が分かる

<sup>しゆうまつ</sup> <sup>かんそう</sup> <sup>がくしゆう</sup> <sup>じぶん</sup> <sup>わ</sup>  
終末の感想は学習のゴールです。自分でも「こんなに分かるようになったんだ！」と  
<sup>ふか</sup> <sup>よ</sup> <sup>ふか</sup> <sup>まな</sup> <sup>かた</sup> <sup>ふか</sup> <sup>へん</sup>  
びっくりするくらい深まっています。それは、読みの深まりでもあり、学び方の深まり(変  
<sup>よう</sup> <sup>しよはつ</sup> <sup>かんそう</sup> <sup>おお</sup> <sup>せいちよう</sup> <sup>わ</sup>  
容)でもあります。初発の感想のころとは、大きく成長したことが分かるはずです。

<sup>つぎ</sup> <sup>じゆぎよう</sup> <sup>たんげん</sup> <sup>じしん</sup>  
これが次の授業(単元)の自信につながります。



いいこと気づいた！

<sup>かんそう</sup> <sup>よ</sup> <sup>くら</sup>  
感想を読み比べるというのも

<sup>たいせつ</sup>  
大切な「ふりかえり」の

ひとつなんだ。